

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記4

国立市立国立第七小学校

平成28年5月31日 NO.19 (319)

花ちゃん 「オー君！いよいよ明日から6月ね。」

オー君 「でも、6月って、梅雨の季節になるでしょ。外で遊べなくなるから、あまりいい季節ではないな。」

花ちゃん 「そんなことないわよ。カサをさせばいいでしょ。それに長くつだってあるし。どこにだって行けるわ。雨の日のお散歩だって、けっこう楽しいわ。」

オー君 「そうか、カタツムリやカエルみたいに、雨がふってよろこんでいる生き物だっているか。」

花ちゃん 「雨の音をしずかに聞くことだってきっと楽しいわよ。それから、雨があがったら葉っぱがきれいになるでしょ。それを見るのもいいわ。」

モンタ博士 「そうだね。雨の日の楽しみかたを考えるといいね。でもね、東京が梅雨になるのは6月でも後半のほうなんだ。それまでは暑い日が続くから熱中症にならないように気をつけてね。あ！あそこに青いお花がさいているよ。みんなで見に行ってみよう。」

花ちゃん 「あ！ツユクサですね。これからの季節にぴったりのお花ですね。」

オー君 「梅雨になるから、ツユクサというのかな。」

花ちゃん 「うーん。どうだったかな。」

モンタ博士 「このツユクサというのはね、梅雨の季節だからではないんだよ。つゆはつゆでも露のほうさ。」

オー君 「露ってなんだ？」

モンタ博士 「露というのはね、夜、空気がひえて、空中の水分がつぶつぶとなって葉っぱなどにつくものだよ。アサガオの葉っぱにつゆがおりるとかいうんだ。」



ツユクサ

このツユクサは、朝の露を集めて

咲くんだね。それに、昼にはしぼんでしまうんだ。」

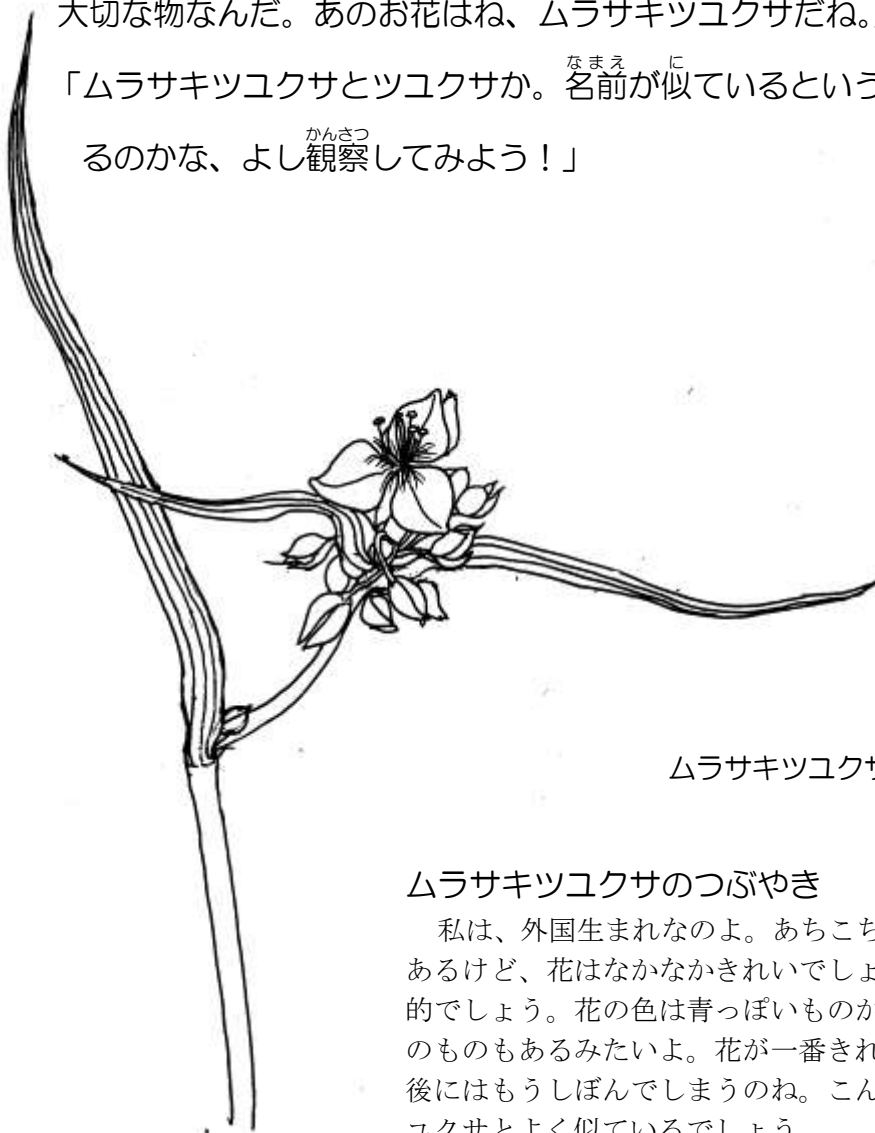
オー君 「ふーん。そうなんだ。梅雨とは関係ないけど、まあ、きれいなお花だから、見
ていてうれしいね。ところでさ。花ちゃん、春ってけっこういろいろなお花が
咲いて、いい季節だと思ったけど、よく見ると、いろいろな季節に花ってい
っぱい咲いているんだね。」

花ちゃん 「そうね。国立七小は花いっぱいがっこうの学校ですね。これからいろいろな植物や
昆虫などたくさん見つけていきましょう。」

オー君 「あれあれ？あんなところにもお花が咲いているよ。なんだろう。」

モンタ博士 「よく気がついたね。きれいな花が咲いていても気がつかないとか、見えない
というのではさみしいね。植物や昆虫などは、季節の変化を教えてくれる
大切な物なんだ。あのお花はね、ムラサキツユクサだね。」(北門入った所にたくさんあります)

オー君 「ムラサキツユクサとツユクサか。名前が似ているということは、花も似てい
るのかな、よし観察してみよう！」



ムラサキツユクサ

ムラサキツユクサのつづやき

私は、外国生まれなのよ。あちこちの道ばたに雑草のようにあるけど、花はなかなかきれいでしょ。3枚の花びらが特徴的でしょう。花の色は青っぽいものから、白、紫色、ピンク系のももあるみたいよ。花が一番きれいなのは、朝なのよ。午後にはもうしぼんでしまうのね。こんなところが、ふつうのツユクサとよく似ているでしょう。